

2010. 7

HIOKI-City <http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

vol.63

ひおき

HIOKI JOURNAL JUL.2010

主な記事

消費生活相談状況	2
介護保険のお知らせ	4
特定健康診査・特定健康指導について	6
共生・協働の地域づくり	8
平成22年度市・県民税改正内容について	9
まちの話題	10
市民の広場	18

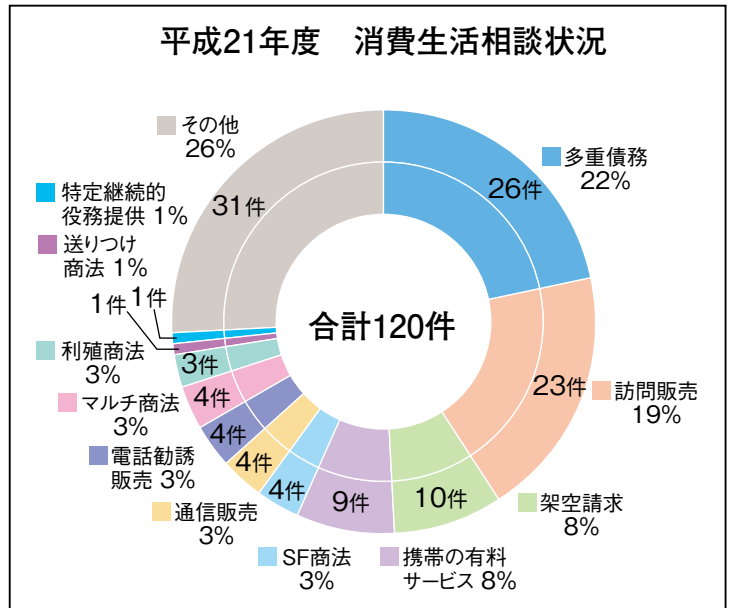


一人で悩まないで相談しましょう

日置市には、消費生活に関する相談が多く寄せられています。平成21年度に寄せられた相談件数は120件で、前年度146件と比較して、減少しているものの、依然として悪質で巧妙な手口による訪問販売や架空請求などの相談は後を絶ちません。

相談内訳は、多重債務に関する相談が26件と最も多く、次いで訪問販売に関する相談が23件、架空請求に関する相談が10件となっています。

今回は、相談の多い多重債務について紹介します。



多重債務 ～あなたは大丈夫ですか？～



クレジットや消費者ローンの返済のために家計が成り立たなくなったり、返済が滞ったりしていませんか？

このような状態に陥ってしまっていたら、できるだけ早く家計の見直しや、負債の整理をして生活の立て直しを図らなくてはなりません。

借金の返済に充てるために、ほかの金融業者から借り入れる行為を繰り返し、多重債務に陥ると、個人の知恵や努力だけでの解決はきわめて困難になります。

多重債務に陥らないために・・・

- ① 生活設計を立てましょう。日々の暮らしに必要なお金や教育費、老後資金などについて考えておきましょう。
- ② 金利、手数料、毎回の支払日や支払額、支払総額を必ず確認しましょう。
- ③ 返済できる計画が立たない場合は、お金を借りないようにしましょう。
- ④ 親しい友人や家族から借金の保証人を頼まれても、安易に保証人を引き受けるのはやめましょう。
- ⑤ 限度額までだから大丈夫と、安易にカードで借入をしないようにしましょう。
- ⑥ どんなに困ったときでもヤミ金業者からは絶対に借りないようにしましょう。

多重債務の解決方法

① 任意整理

裁判所を利用しないで、弁護士や司法書士に依頼して、当事者間での話し合いにより和解を目指す方法。利息の再計算により、借金の残高を減らすことなどを交渉する。

② 特定調停

裁判所の調停によって債務を整理する方法。裁判所の調停委員が債権者と債務者の間に入り、借金の額などについて合意を促す。

③ 個人再生

借金の一部を3年間程度で支払うことを条件に、残りの借金を免除してもらう方法。返済計画を裁判所に認めてもらう必要がある。

④ 自己破産

裁判所の決定により、財産を債権者に分配したうえで、残った借金を免除してもらう。自己破産をしても日常生活への影響はさほど大きくありません。

どんなに多額の借金であっても、解決する方法は必ずみつかります。一人で悩まず弁護士や司法書士、市消費生活相談窓口などに相談しましょう。

気をつけましょう



【消費生活相談窓口】

本庁 商工観光課 273-2111 東市来支所地域振興課 274-2111

日吉支所地域振興課 292-2111 吹上支所地域振興課 296-2111

※ 本庁商工観光課では土・日・祝日を除き、消費生活相談員が対応します。

貸金業法が大きく変わります

～利用者の皆さんが安心して借りられるように、新しいルールが6月18日からスタートしました～

借り過ぎ・貸し過ぎを防ぐため、ここが変わります。

◎ 借入総額が「**年収の3分の1**」を超える場合、**新規の借り入れができなくなります。**

※貸金業者からの借り入れに限ります。すでに借りている分については、契約書のとおり返済すれば問題ありません。なお、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫などからの借り入れについては、この制限はありません。

◎ 借り入れの際、基本的に**年収を証明する書類**が必要となります。年収を証明する書類がないと、**借りられなくなることがあります。**

※専業主婦(主夫)の方は、少なくとも、配偶者の年収を証明する書類、配偶者の同意書などが必要です。個別のお取引については、お取引先の貸金業者にお問い合わせください。

介護保険料について

65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料

保険料は、本人の所得金額や世帯員の住民税課税状況により6段階に区分され、個人ごとに賦課されます。

平成22年度の介護保険料額決定通知書は、8月に送付されます。

平成21年度から平成23年度まで

所得段階	対象者	保険料の調整率	保険料月額	保険料年額
第1段階	生活保護受給者または老齢福祉年金受給者で、世帯全員が住民税非課税の方	基準額×0.50	月額1,990円	23,880円
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円以下の方	基準額×0.50	月額1,990円	23,880円
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、前年の合計所得金額+課税年金収入額が80万円を超える方	基準額×0.75	月額2,985円	35,820円
第4段階	世帯内には住民税課税の人がいるが、本人は住民税非課税の方	基準額	月額3,980円	47,760円
第5段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が200万円未満の方	基準額×1.25	月額4,975円	59,700円
第6段階	本人が住民税課税で、前年の合計所得金額が200万円以上の方	基準額×1.50	月額5,970円	71,640円

保険料の納め方

特別徴収 年金が年額18万円以上の方 → 原則年金から差し引き

- 年金の定期支払い（年6回）の際に、介護保険料があらかじめ差し引かれます。
- 老齢基礎年金・厚生年金などの老齢（退職）年金のほか、遺族年金・障害年金も特別徴収の対象となります。

区分	仮徴収			本徴収		
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
内容	年間保険料額は、8月に決定しますので、4・6・8月は、確定した保険料での徴収ができないため、暫定保険料での徴収となります。通常は、前年度の2月と同額になります。			10・12・2月は、決定した年間保険料額から、すでに納めている仮徴収分を除いた額を3回に分けて徴収します。		

※ 年金が年額18万円以上でも一時的に納付書で納めることがあります（普通徴収になります）。

- 年度途中で65歳（第1号被保険者）になった場合
- 他の市区町村から転入した場合
- 年度途中で老齢（退職）年金、遺族年金、障害年金の受給が始まった場合
- 申告のやり直しなどで、保険料の所得段階が変更になった場合
- 年金が一時差し止めになった場合

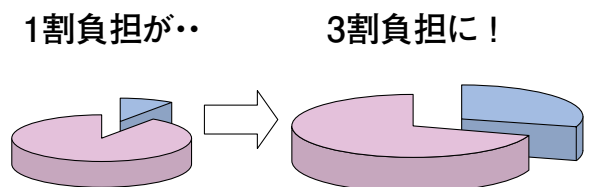
普通徴収 年金が年額18万円未満の方 → 納付書・口座振替

- 保険料の年額を6回（期）に分けて納めます。
- 市から送付されてくる納付書や口座振替で、期日までに金融機関などを通じて保険料を納めてください。

保険料を納めないでいると

第1号、第2号被保険者ともに、保険料を納めないでいると、滞納期間に応じての次のような措置がとられます。

- 1年以上…費用の全額をいったん利用者が負担し、申請によりあとで保険給付分（9割）が支払われます。
- 1年6か月以上…保険給付の一部または全部が一時的に差し止めとなります。
- 2年以上…利用者負担が1割から3割に引き上げられ、高額介護サービス費が受けられなくなります。



いつまでも元気でいるために

～介護予防に取り組みましょう～

健康チェック票

No.	質問項目	回答 (いづれかに○をお付け下さい)	
1	バスや電車で1人で外出していますか	0. はい	1. いいえ
2	日用品の買物をしていますか	0. はい	1. いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0. はい	1. いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0. はい	1. いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0. はい	1. いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	0. はい	1. いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	0. はい	1. いいえ
8	15分位続けて歩いていますか	0. はい	1. いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1. はい	0. いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1. はい	0. いいえ
11	6ヵ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい	0. いいえ
12	身長 cm 体重 kg		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい	0. いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい	0. いいえ
15	口の湿きが気になりますか	1. はい	0. いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0. はい	1. いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. はい	0. いいえ
18	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると云われますか	1. はい	0. いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0. はい	1. いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい	0. いいえ
21	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1. はい	0. いいえ
22	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい	0. いいえ
23	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1. はい	0. いいえ
24	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい	0. いいえ
25	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい	0. いいえ

左の票は、生活機能をチェックするものです。健康チェック票で「生活機能の低下があり」と判定された人には、さまざまな教室を案内いたします。

*にこにこ栄養クラブ

低栄養を予防するための食事を学ぶ教室

*歯つらつクラブ

お口の体操や手入れ方法を学ぶ教室

*いつまでも元気教室・すってんころばん教室

体力や筋力をつける体操や転ばない体づくりを学ぶ教室 など

「もう年だから…」とあきらめるのではなく、何歳になっても自分らしく生活していけるように、元気なうちから介護予防に取り組みましょう！

元気で長生きを目指して!!



にこにこ栄養クラブ



歯つらつクラブ

教室紹介



いつまでも元気教室



すってんころばん教室

高齢者虐待防止のために

虐待に気づいた人は、市町村へ通報する義務が法律によって定められています。通報の秘密は守られますので、虐待が疑われる場合でも、まずはご相談ください。



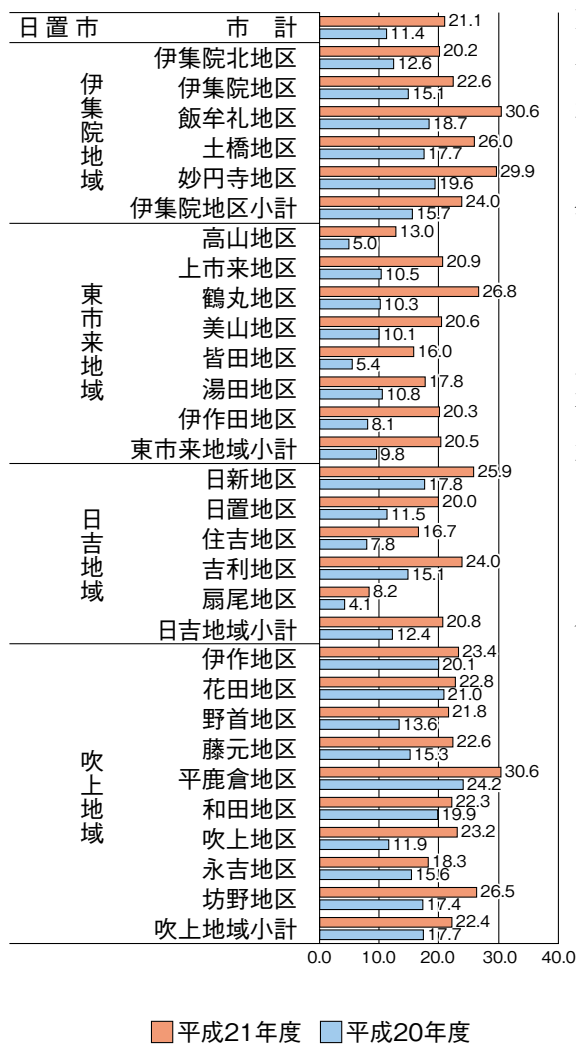
市役所
または
地域包括
支援センター
に
ご相談
ください!!



日置市地域包括支援センター

〒899-2592 日置市伊集院町郡1丁目100番地 Tel. 099-273-2111(内線 1182~1184)

図2 特定健診地区公民館別受診率
グラフ



★平成21年度の受診率
平成20年度の日置市の特定健診の受診率は、11・4%で県下最下位でした。
平成21年度は、地域での保健推進員の活動や、医療機関の協力により、受診率が21・1%（前



が考え、年1回は特定健診や、がん検診を受診しましょう。
制度や手続きなどご不明な点は、お気軽に左記までお問い合わせ

年比9・7%増になりました。
地区別の受診率についても掲載しましたのでご覧ください（図2参照）。
★一人ひとりの健康づくりのために
平成22年度の特定健診の目標受診率は45%です。
この目標値や、すべての市民が「生涯現役で豊かな人生を過ごす」という目的を達成するためには市民、地域、行政、関係機関が一体となって健康づくりに取り組む必要があります。

問い合わせ先
本庁健康保険課
TEL 099-273-2111
東市来支所市民課
TEL 099-274-2111
日吉支所市民課
TEL 099-292-2111
吹上支所市民課
TEL 099-296-2111
(内線 4133)

わせください。
今後とも国保事業の運営について、皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

医療機関・薬局の受診などにあたってのお願い

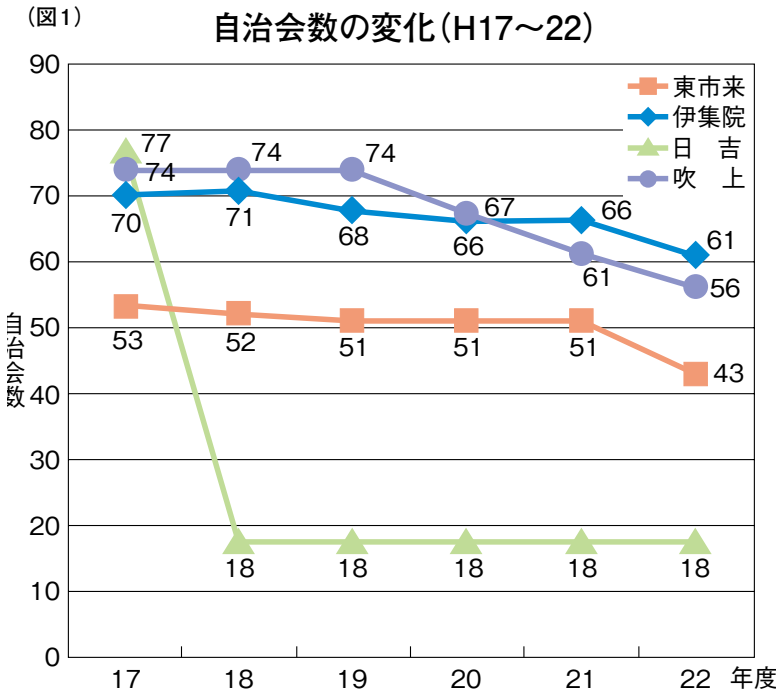
現在、休日や夜間において、軽症患者の救急医療への受診が増加し、緊急性の高い重症患者の治療に支障をきたすケースが発生しています。

そのことが病院勤務医の負担が過重となる原因の一つにもなっています。また休日、夜間は医療機関に支払われる医療費も高く設定されており、窓口負担も高くなります。

必要な人が、安心して医療が受けられるようにするとともに、保険税や皆さんが窓口負担をしていただく医療費を有効活用するため、次のことをお願いいたします。

- ・休日や夜間に受診しようとする際は、平日の時間内に受診することができないか、もう一度考えてみましょう。
- ・かかりつけの医師を持ち、気になることがあったらまずは、かかりつけの医師に相談しましょう。
- ・同じ病気で、複数の医療機関を受診することは控えましょう。
- ・薬が余っているときは、医師や薬剤師に相談しましょう。
- ・ジェネリック医薬品（後発医薬品）を活用しましょう。





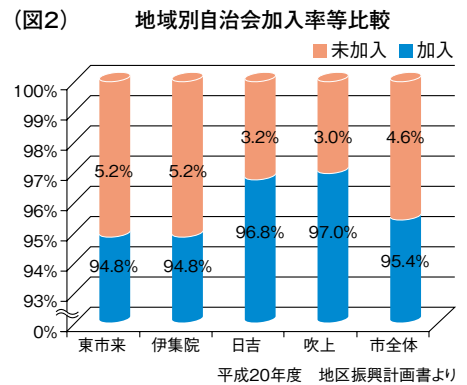
自治会による 自治と共生・協働

日置市の誕生当初、市内には自治会が二七四カ所ありました。五年を経た現在、その数は一七八カ所。歴史ある地縁組織の統合に苦悩しながらも、地域の将来を見ずして自治会統合が進められながらも、地域の自治活動への支障が心配されています。

共生・協働の根幹をなす自治会



温もりあふれる
共生・協働の地域づくり
13



合併前の四町の自治会数は、東市来53、伊集院70、日吉77、吹上74。それがこの五年間で96カ所、およそ35%減りました。しかし、その取り組みは、自治会員の意識を少しずつ高めながら、時間をかけて統合していったことがうかがわれます(図1)。「合併できる体力のあるうちに」。それぞれの自治会で、地縁による自治組織を守るために、前向きに統合された結果です。

市では平成21年度末までに統合した自治会に対し、五年間、自治会統合交付金などでその取り組みを支援しています。今年度は31自治会に対し一、三五〇万円を支出しています。自治会は、地縁によりその場所に住むことになった住民が、

自治会活動に理解と関心を

自治会内の課題を解決し、快適で住みよくしようと作られた自治組織です。その活動は、親睦(しんぼく)や連帯のほか、防災や排水路の清掃、ごみ収集所の管理など、公共サービスを担っている側面もあります。また上流域の自治会が行う河川管理は、中・下流域の水田や環境にも影響するといわれ、その活動が広域的にかかわってくることもあります。自治会が自治を継続できることは、私たちの暮らしに直結する大切なことなのです。

日置市自治会長連絡協議会

役職	氏名	地域
会長	濱崎 満洋	東市来
副会長	田中 輝雄	伊集院
	山口 義光	日吉
監事	榊 秀徳	吹上
	久留 俊夫	東市来
	手塚 英司	日吉

6月号の記事に誤りがありましたので、訂正しておわびします。

わが国で地縁組織による支援が見直されたのは阪神淡路大震災以降。いざという時、支えになるのは近隣の人々です。自治会の意義をもう一度、考えてみてはいかがでしょうか。

会も79カ所あります。未加入者のいる自治会では、少しでも加入への理解と自治会活動への協力を得ようと、自治会行事などの機会をとらえて、世帯訪問や参加要請をしています。また負担の少ない準会員制度を設けたり、集合住宅の管理者に加入を呼び掛けてもらうなど、全員加入に取り組んでいます。

平成 22 年度市民税・県民税改正内容について

平成 21 年度の税制改正により、以下の内容が主に改正、追加されました。いずれも平成 22 年度分の市民税・県民税から対象となります。

住宅借入金等特別税額控除の創設

対象となる方

- 平成 21 年 1 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までに新築または増改築して入居した方

控 除 額

- 以下のいずれか小さい額が翌年度の市民税・県民税の所得割額から控除されます。
 - 1 所得税の住宅ローン特別控除可能額のうち、所得税から控除しきれなかった額
 - 2 所得税の課税総所得金額等の額に、5%を乗じて得た額（最高 97,500 円）

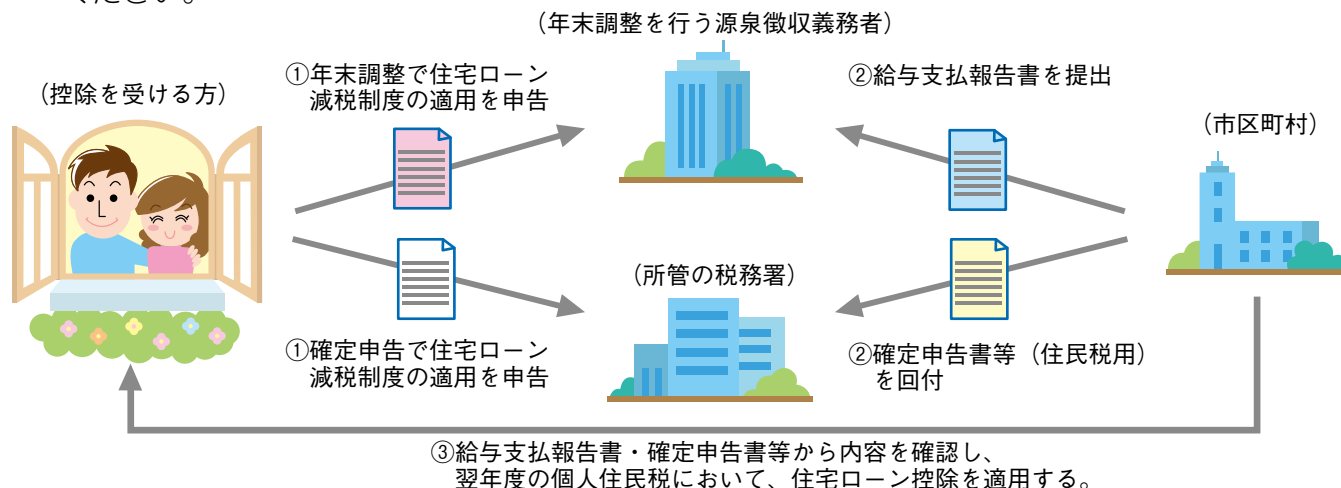
控 除 期 間

- 10 年間（所得税の住宅ローン特別控除の適用を受けている期間）

手続きの方法など

- 1 年目は、税務署で所得税の住宅ローン特別控除の確定申告を行ってください。
- 2 年目以降は、給与所得のみで年末調整で住宅ローン控除の申告が済んでいる方で、勤務先から給与支払報告書が提出されていれば、手続や申告の必要はありません。ただし、年末調整が済んでいない方や、給与所得以外の所得がある方などについては、税務署で確定申告を行ってください。

※**税源移譲に伴う住宅借入金等特別控除（平成 11 年から平成 18 年までに入居した方）**も引き続き実施いたします。手続きの方法は上記と同様で、給与所得のみで年末調整で住宅ローンの申告をしている方は、市役所での申告が不要となりました。ただし、年末調整が済んでいない方や、給与所得以外の所得がある方などについては、税務署で確定申告を行う必要がありますのでご注意ください。



このほか、金融・証券税制の改正についてと、土地等の長期譲渡所得に係る特別控除の創設については、市ホームページをご覧ください。税務課市民税係または各支所地域振興課までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

本 庁 税 務 課 市 民 税 係 Tel 273-2111 (内線 1113) 日吉支所 地域振興課市民税係 Tel 292-2111 (内線 3113)
東市来支所 地域振興課市民税係 Tel 274-2111 (内線 2114) 吹上支所 地域振興課市民税係 Tel 296-2111 (内線 4114)

昔ながらの手植えに顔 泥だらけ

吉利小学校・日新小学校で田植え体験

日吉地域の吉利小学校と日新小学校で、自然に親しみ農業の



▲6年生に教わりながら丁寧に植え付け (日新小)

大変さを学ぼうと、田植え体験が行われました。

吉利小では六月二十二日、学校近くの田んぼで行われました。

児童らは地元の自営者クラブから説明を受けた後、横一列に並び泥の上に引かれた線に沿って苗を植え付けました。

一方、日新小では二十四日に行われ、地域の米作りアドバイザーに指導を受けながら、学校所有の田んぼに植えました。一年生は田植え初体験とあって、苗を植えた手で汗をぬぐい、



▲おいしいお米ができるといいな (吉利小)

顔を泥だらけにする児童や、ぬかるみで動けなくなる児童もいて水田に歓声が響きました。子どもたちは、豊作を祈りながら、田んぼ一面に稲穂が揺れる秋を楽しみにしています。

目指せ 茶入れ名人

お茶について学習

土橋小学校(伊集院)五年生と六年生の児童二十人が五月二十六日「お茶」について学習しました。

この日は、日本茶インストラクターの亀田恭子さんがクイズを通し、お茶の成分やお茶の種類などを説明した後、今年採れた新茶を入れました。

児童たちは「いいにおいがする」「ちよつと苦い」などと話しながら、七十度のお湯で入れ

ると甘さが引き立つことや、茶の葉を量って急須に入れる、最後の一滴まで残さずに注ぐことなど、本格的なお茶の入れ方を学びました。

柳野季花さん(五年)は「家に帰ったら習ったことを思い出して、お茶を入れて家族と飲みたい」と話しました。

秋には、鶴丸小(東市来)と飯牟礼小(伊集院)、吉利小(日吉)でも行われる予定です。



親子で協力、手植え体験に充実感

尾木場めだかの里米作り体験



採れた野菜たっぷりの豚汁と畑田米、漬物などを堪能しました。食事中には、これまでの尾木場地区での取り組みが紹介され、参加者は熱心に説明を聞いていました。

次回の米作り体験は、十月の稲刈りとなります。



▲お父さんが子どもたちへ手ほどき



▲田植えの後は、おいしい食事に舌鼓

高山地区尾木場めだかの里(東市来)で六月二十日、米作り体験が行われ、市内外から八組三十八人(大人二十二名、子ども十六名)が参加しました。

これは田植えや稲刈り、収穫などの作業を通して米作りを体験してもらうもの。

この日は、あいにくの雨となりましたが、参加者は地元農家の手ほどきを受けながら丁寧に苗を植えていきました。

約一時間の田植えを終えた子どもたちは「雨が降っていたいへんだったけど、稲が大きくなるのが楽しみ」と満足げ。その後、公民館へ移動し、地元で

伝統の和紙作りを体験

「よみがえれ伊作和紙」プロジェクト



伊作（いづく）和紙すき体験講座が五月十五日は吹上中央公民館で、十六日には市中央公民館で開催されました。

これは、本年度日本財団の助成を受けてスタートした「よみがえれ伊作和紙」プロジェクトの一環として、鹿児島市と日吉町吉利で和紙工房を開く種子田幸廣さんが行ったものです。

参加者は「厚さを同じにするのが難しかった。出来上がりが楽しみ」などと話し、大人も子どもも思い思いの和紙すきを楽

しみました。

また七月には日吉町の工房で、ハガキ作り講座を開催しました。

種子田さんは「自分で作ったハガキを、暑中見舞いや年賀状として、親や祖父母に送ってほしい。そしてハガキをもらった人が応募するハガキ自慢コンテストを開催したい」。また「地元の人にもっと『伊作和紙』を知ってもらい、地域活性化につながればうれしい」と笑顔で話しました。

音楽とお話のコラボに笑顔

ペインティング&イングリッシュ&ピアノライブ

地域のボランティアグループによるペインティングライブが五月十五日、妙円寺地域交流センター（伊集院）で開かれ、親子連れら約三十人が楽しみました。

これは、妙円寺八区お楽しみ会の中で行われたもので、この日は「おおきなかぶ」を披露。ピアノやチェロ、フルートの奏でる音楽に合わせて、大きな紙に即興で絵を描きあげました。登場人物の声にイントネー

ションをつけ、間を取りながら丁寧に表示すると、子どもたちは目を輝かせながら「絵がきれい」「音楽にびつくりした」と大喜び。また出来上がっていく絵に合わせて、英語で読み聞かせも行われました。

同グループの有川ゆかりさんは「これからもライブの楽しさと会話の美しさや、音楽の芸術性を伝えていきたい」と話しました。



泥の感触を楽しみながら手植え

吹上地域各小学校田植え体験



▲永吉・花田小合同で田植えに挑戦

吹上地域の各小学校で田植え体験が行われました。

永吉小の一年生から四年生二十六人と花田小の全校児童三十人は六月二十四日、合同で山神の郷公園近くの田んぼで体験。永吉ふれあい会員の指導を受けながら植え付けました。

同会は「ほとんどの児童が昨年も経験しているだけあって上手」と児童との交流を楽しみました。

和田小でも同日、全校児童二十二人が保護者と一緒に田植えを行い、慣れない手つきながらも丁寧に稲を植えました。

伊作小では同月二十五日、一、二年生が今田水田保全協議会員の手ほどきを受けながら田植えに挑戦しました。

この日は、あいにくの雨となり、かっぱを忘れた二年生は見学。一年生だけの挑戦となりま

した。

慣れない泥に悪戦苦闘。なかには田んぼに入ってすぐ尻もちをついたり、持っていた苗を全部そのまま植えたりと、泥だらけになりながらも一生懸命に植えていました。

「さすがに一年生には難しかったか」と同会会員も苦笑い。しかし最後には「よか経験ができたが」と、ずぶぬれで帰っていく児童の列を笑顔で見送りました。



▲丁寧に苗を植える児童（和田小）



▲なれない泥に悪戦苦闘の1年生（伊作小）

合宿しながら通学、自立心養う

3地域（東市来・伊集院・吹上）で学寮実施

子どもたちが家庭を離れ、宿泊生活をしながら通学する「通学合宿学寮事業」が東市来地域、伊集院地域、吹上地域で実施されました。

東市来地域は、東市来文化交流センターを拠点に六月二日から五日まで行われ、小学生三十人が参加、国際交流員の李濬京（リ・ジュンギョン）さんと交流を図ったり、勾玉（まがたま）作りや陶芸体験をしました。

三日目に書いた家族への手紙は、退寮式に保護者へ手渡し、大変喜ばれました。伊集院地域は、五月十六日から



▲一生懸命、勾玉（まがたま）制作に励む児童（東市来）

ら二十一日まで伊集院健康づくり複合施設「ゆすいん」を拠点に、小学五年生から中学一年生までの三十六人が参加して行われました。

夕食は、悪戦苦闘しながらも包丁を手に、ジャガイモやニンジンなどを刻みカレーライスやサラダを作りました。

また婦人会とグラウンドゴルフでの交流や、ALTとの英語を使ったゲームなど楽しく体験しました。

吹上地域は、五月二十六日から二十九日まで小学生十一人が参加し、県立南薩少年自然の家



▲婦人会とグラウンドゴルフで楽しく交流（伊集院地域）



▲遠くへ飛ぶかな？ペットボトルロケット（吹上地域）

を拠点に行われ、ペットボトルロケット作りやALTとの英語を使った交流などを体験しました。

最終日は、食生活改善推進員に手伝ってもらい食材の買い物をした後、それぞれの班ごとに分かれ昼食を作りました。

各地域とも参加した子どもたちは「みんなで協力し合って楽しかった」「自分で食事を作ったり洗濯をしたりして、家族の苦労が分かった。これからは、もっと手伝いをしたい」などと話し、仲間と集団生活の中で互いのきずなを深め、多くのことを学びました。

日吉地域の学寮は十月に実施する予定です。

気分はすっかりアナウンサー

フリーアナウンサーの中村朋美さんを講師にしたアナウンス講習会が五月二十九日、中央公民館で開催されました。

講習会には、小学五年生から高校生までの二十八人が参加。基本の発声練習や、原稿を読む前の注意点など多くのことを学びました。

中村さんの経験に基づく具体的で実践的な講義や、演習にふれた参加者は「アナウンスの基礎を学ぶことができ、言葉を伝えることの大切さを

アナウンス講習会



あらためて考える良い機会となった」とアナウンスに理解を深め、充実した時間を過ごしました。

地域社会全体で子どもを見守ろう

日置地区スクールガード・防犯ボランティア研修会

日置地区スクールガード・防犯ボランティア研修会が五月十五日、日吉総合体育館で行わ

れました。



研修会には学校関係者やPTA会員、地域ボランティアなど約八十人が参加。県教育庁保健体育課の玉泉真二さんから「子どもたちの登下校時に不審者の声かけ事案が多発している」と話があり、見守り活動のポイントや通学路の安全点検などについて説明がありました。

その後、総合警備保障株式会社による実技指導が行われ、実際に不審者と遭遇した場合の対処方法を学びました。

消防操作きびきび

消防操法大会

消防技術の向上と消防団員の意識高揚を目的に五月から六月にかけて市内各地域（伊集院、日吉、吹上）で消防操法大会が行われました（東市来地域は、昨年十一月に開催）。

大会は、ポンプ車と小型ポンプの二部門で行われ、日ごろの訓練の成果を披露しました。

団員らは「操作始め」の合図とともにスタート。きびきびとした動作でポンプ車の操法や、二十メートルのホースを三本つないで放水姿勢を取るまでの時間、正確さなどを競い、大きな声を掛け合いながら真剣な表情で取り組みました。

成績は次のとおりです。
（敬称略）

小型ポンプの部

伊集院地域

- 一位 第五分団
- 二位 第二分団

日吉地域

- 一位 南分団北区部
- 二位 東分団笠ヶ野部

吹上地域

- 一位 永吉分団坊野部
- 二位 永吉分団浜田部

ポンプ車の部

伊集院地域

- 一位 中央分団町部
- 二位 中央分団妙円寺部

日吉地域

- 一位 南分団南区部
- 二位 東分団住吉部

吹上地域

- 一位 中央分団吹上部
- 二位 和分団和田部



清藤工業団地に工場進出

しまうまプリントシステム(株)立地協定式



清藤工業団地（伊集院）に、しまうまプリントシステム(株)（永用万人社長）の進出が決まり五月二十四日、市役所で立地協定のための調印式が行われました。

同社は、ダブルビジョン(株)（東京都）のプリント事業の分野をネットプリントの専門業者として今年五月に分社。デジタルカメラで撮った写真をインターネットによる受注から発送まで自社で一貫して行い、国内全域

を対象にサービスを提供していきます。

今回の工場建設は、独自に開発したソフトウェアにより需要が拡大し、現工場が手狭になったことから、約二六〇〇平方メートルの敷地内に、第一期工事として約六六〇平方メートルの工場を建設するもので、今年十月の操業を予定しています。

これにより地域雇用の拡充や、経済の活性化に大きな期待が寄せられます。

異業種間交流で地域産業の活性化を図る

日置市異業種交流懇話会総会

日置市異業種交流懇話会総会が六月十一日、十七企業の会員をはじめ行政関係者など三十五人が参加し開催されました。

同懇話会は平成十七年に設立され、異業種間の交流により市全体の発展につながるよう積極的な活動をしています。

今年度からパナソニックセミコンダクタオプトデバイス(株)と(株)てまひま堂、富士エネルギー(株)の三社が新たに会員となり二十五社の会員企業となりました。

総会では、同会会員企業による吹上高校訪問や、さつま町ものづくり企業振興会との交流など昨年度の事業と決算を報告。今年度は、新たに先進地市町との交流会や企業訪問、高等学校との意見交換などの事業計画と予算が提案され承認されました。

また大阪府のブレインパワー(株)の加藤まき子取締役会長を講師として招き「自己の能力内でのやる」と題して講演が行われました。



新鮮な海の幸いかが

吹上漁協直売所オープン

吹上町漁業協同組合の直売所が六月六日、同漁協市場の隣にオープンしました。

これは、(財)魚価安定基金協会の産地販売活動活性化事業を活用し建設されたもので、これまでの施設に比べ約四倍の広さ(約四〇平方メートル)になりました。

直売所では、同漁協で水揚げされた新鮮な魚類はもちろん、地域の方が近くの畑で育てた野菜も提供。これまで以上に地域との交流を広げ、新たな観光拠点として地産地消への効果が期待されます。



待されます。

これから夏に向けて、観光客でにぎわう季節。新しくなった直売所で吹上の海の幸をPRし、地域漁業の活性化につながればと住民も期待を寄せています。

薄紫色の花、涼しげに

正円の池ホテイアオイ

吹上地域の正円の池のホテイアオイが、今年も涼しげな薄紫色の花を咲かせ訪れた人の目を楽しませました。

ホテイアオイは、南アメリカ原産のミズアオイ科の水生多年草で、ウォーターヒヤシンスとも呼ばれています。

また浮草のため風に流され、湖面は絶えずその風景を変えていきます。

今年、梅雨に入り雨が降り始めると一斉に咲き始め、見る見るうちに湖面を彩っていきました。

特に雨の降る日は、梅雨空に淡い紫色の花と緑色の葉のコントラストが映えて、風情ある景色を作り出しています。

九月にも、その涼しげな花を咲かせます。ぜひ一度ご覧ください。



来館者300万人を突破!

伊集院都市農村交流施設「チエスト館」

開館から八年目を迎える都市農村交流施設「チエスト館」(伊集院)の来館者が五月十五日、三百万人を突破しました。

三百万人目となったのは、月に五、六回ほど訪れるという鹿児島市の山根正城さん。宮路市長らと記念のくす玉を割った後、特産のイチゴや記念品が贈られました。

また同月二十二日には八周年大感謝祭が行われました。

この日は、新鮮な地元野菜や果物が特価販売とあつて店内は大にぎわい。屋外ステージでは五ツ太鼓や、松元祐樹さん(伊集院町清藤出身)の歌謡ショーなどもあり、大盛況の一日となりました。



自然の中で夏を楽しんで

吹上浜キャンプ村開村式

今シーズンの無事故を祈って吹上浜キャンプ村の安全祈願祭が七月九日、市や観光協会ら関係者が出席し行われました。

昭和二十四年に開村し、古くから親しまれている吹上浜キャンプ村は、バンガローや台座付テントなどが整備されており、本格的なアウトドアが体験できる県内でも老舗的な存在です。

開村期間は七月十日から八月三十一日まで。皆さんもどうぞご利用ください。



プロ野球OBから熱血指導

村田兆治（元ロッテ投手） 野球教室



元プロ野球選手で、野球評論家の村田兆治さんによる野球教室が五月二十二日、チェスト小鶴ドームで開催されました。

この教室は、同ドームの命名権（ネーミングライツ）を獲得した小正醸造（株）が企画したもので、市内中学校の野球部員約百人が参加。元プロ野球選手から野球の基本や心構えなどについて学びました。

村田さんは現役時代「マサカリ投法」と呼ばれる独特の投球フォームで通算二一五勝を挙げ、野球殿堂入りした名投手。教室は、元ロッテの主力打者として活躍された横田真之さん（日置市在住）とともに、ストレッチや走塁、キャッチボール、



バッティングフォームなど身ぶり手ぶりを交えて熱心に指導。子どもたちも真剣な表情で練習に取り組みました。

村田さんの熱血指導を受けた小園翔吾君（日吉中三年）は、「ボールの握り方や内野守備の仕方など初めて知ることがあったので試合に生かしたい」と話し、あらためて野球の楽しさを感じていました。

懐かしい映画スターがずらり

日吉ふるさと館 毘沙門



毘沙門地すべり資料館の有効利用を図ろうと、今年五月に日吉のアンテナショップとしてリニューアルオープンした「日吉ふるさと館 毘沙門」で「映画看板の絵」を一堂に集めた展示会が開かれました。

展示会は、六月八日から二十七日までの予定でしたが、大好評により七月末まで延長。作品は、肖像画家でもある玉利正館長が、五十年前に映画館で

宣伝用として描いていた時代劇の看板で、地元特産品に交じり往年の映画スターがずらりと並び、訪れた人は懐かしそうに見入っていました。

同館では、地元の特産品や工芸品などの販売のほかに、毎週土・日にはうどんコーナーを設け、毎月第一日曜日には「軽トラ市」を開催するなど、企画も盛りだくさん。新しい観光拠点として利用が期待されます。

泥にまみれて歓声

子どもせつぺとべ どんご大会



日置地区公民館主催の「子どもせつぺとべ どんご大会」

が五月二十九日、日置八幡神社近くの御神田で行われました。今年 は地域内の小学生に参加を呼びかけ、三十四人が参加しました。

最初は恐る恐るだった子どもたちは、一度入るとすぐに慣れ「キヤーキヤー」と全身泥だらけになりながら大はしゃぎ。田んぼの中でかけっこや、ドッジボールを夢中になって楽しみました。

最後は、今年中止となった「せつぺとべ」を体験。「チョシ、チョシ」と大人たちの分まで精



いっぱい跳びはね、たつぷり水を張った田んぼに子どもたちの歓声が響きました。



みんなでひろげよう! 「元気な市民づくり運動」

メタボでよかった?! みんなでスッキリ!! 目標に向かって励んでいます!!



元気な市民づくり運動
イメージキャラクター
梅太郎

「平成 21 年度特定健康診査」の結果、いわゆる「メタボリックシンドローム」(予備群含む)に該当すると判定された方々を対象に、H22 年 1 月から 6 月までの 6 カ月間支援教室を実施しました。支援教室の名前は「スッキリ教室」。専門スタッフの助言のもと、生活習慣の見直しをきっかけに、体だけでなく心も「スッキリ」してもらいたい、との思いからネーミングしました。それぞれ生活習慣の改善ポイントに気づき、多くの参加者が「スッキリ」効果を得られました!

教室の様子

意見交換会



お互い頑張ろうや!

運動編



コツコツ継続することが大切です!

栄養編



食生活見直しのポイント

- ①カロリー(表示)を見る習慣を!
- ②お酒の席では、食べる量も増えがちなことを忘れずに!
- ③野菜たっぷりの食事を! 雑穀ご飯もおすすめ!

参加者の声

- ・医師講話で「てげてげでも大事」と聞き、無理なく続けられた。
- ・負担に感じずに楽しく減量できた。
- ・毎日の生活の中で意識するようになった。
- ・以前はカロリーを気にせず食べていたが、今は気にするようになった。
- ・毎日、体重を量るのが日課になり、記録を付けることで頑張れた。

スッキリ! 効果

体重減第 1 位 -6.7kg

腹囲減第 1 位 -10cm

特定健康診査を活用し、自分や家族の生活習慣を見直すきっかけをつくってみませんか? 心も体もスッキリ! を目指す皆さんを応援します。平成 22 年度は、伊集院地域では 9 月ごろから、東市来地域、日吉地域、吹上地域は 11 月ごろに開催予定です!

「こころの健康づくり」を推進中! ~あなたのこころを守りたい~

「体がだるい」「肩こりや腰痛が続いている」そんな体の症状の中には、単に体の不具合だけでなく、こころが休息を求めているシグナルである場合もあります。特に「不眠」の症状が続く場合には、病院を受診し処方を受けることも有効です。

こころが疲れていることに、自分では気づきにくいもの。家族や職場、ご近所同士でも「こころの健康づくり」に目を向けてみませんか?



「こころの健康づくり」
啓発用ポロシャツ



啓発スタッフが、
毎週水曜日に着用
しているよ!



福祉担当

保健師

保健師と福祉課、
一緒になって支
援します。一人
で悩まず、気掛
かりなことは一
緒に解決してい
きましょう!



このコーナーに掲載を希望されない方は手続きのときにお申し出ください。

戸籍の窓

おめでとう

6月受付分(敬称略)

伊集院地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
松山 結心	啓輔	妙円寺九区
白石 隆惺	琢也	瀬戸内
寺田 真沙	飛雄馬	天神馬場
徳重 凛太郎	裕輝	妙円寺七区
馬籠 未奈	勝裕	妙円寺九区
濱田 あり	進一	上之馬場
東 美羽	省吾	徳重東
中園 錬	一美	麓東
初村 実夕	昭臣	上方限
前田 結衣	和也	徳重東
白濱 智	直己	妙円寺九区
岩崎 智瞭	智広	妙円寺九区

東市来地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
久徳 柚乃	秀樹	元湯
白坂 慶人	昌史	駅前
外園 里奈	健一	田之湯
内野 優一	康一	中央
宇都 有咲	浩志	美山
永山 真奈美	博則	江口

(出生児) 服部 萌々香
(保護者) 友幸
(自治会) 熊野

おめでとう

6月受付分(敬称略)

伊集院地域

(故人)	(享年)	(自治会)
岩下 健一	33	竹之山
岩永 眞澄	84	徳重東
横山 トシ子	83	天神馬場
杉山 キサエ	88	大田下
堀之内 スミエ	86	瀬戸内
吉永 美咲	1	中川
追田 美代子	81	上神殿
宮路 正信	80	飯牟礼上
内藤 兎子	81	飯牟礼下

東市来地域

(故人)	(享年)	(自治会)
中間 シヅ	79	駅前
徳重 卓一	70	梅木
東峯 ミカ	98	下養母
古川 サエ	95	中伊作田
立和名 ケサノ	89	高山
小屋敷 トヨ	82	南神之川
前田 トヨ子	73	川北
永山 シゲ	93	永山
平田 春美	81	上伊作田
山之口 フク	82	杉之迫
立和名 勇夫	88	萩

吹上地域

(出生児)	(保護者)	(自治会)
丸田 雅也	真也	下田尻
前野 晴紀	辰弥	上中之里
江田 隆文	裕次	小牧

馬場 理枝奈	隆之	熊野
樋元 光琉	修一	熊野

日吉地域

(故人)	(享年)	(自治会)
八重倉 則男	79	諏訪
古里 圭一郎	88	諏訪
児玉 シヅ子	89	帆之港
八重倉 逸子	74	中区
上園 正盛	93	二濁
野上 フミ	89	青松園

吹上地域

(故人)	(享年)	(自治会)
久保 フミ	88	湯之元
宮後 笑	88	荳岡
川畑 金丸	81	永吉中央
池上 秀人	60	ふもと
坊野 シヅ	82	湯之元
折田 智	80	小牧
福田 利男	84	坊野
久木崎 親文	76	永吉中央
徳田 シノエ	92	小牧
松下 チカ	88	平鹿倉
宮野 クサエ	86	今田
内村 キミ	91	下中之里

旭日小綬章を受章

薩摩焼伝承と日韓交流に尽力 十四代沈壽官さん(東市来)

東市来美山に四百年以上前から続く陶工の血筋を受け継いでいる十四代沈壽官さんは、先人



が築き上げてきた伝統工芸薩摩焼の発展と伝統文化伝承に取り組みました。平成元年には、日本初の大韓民国名誉総領事として任命されています。

また平成十年に行われた「薩摩焼四百年祭」では、鹿児島市や美山で開催された日韓閣僚懇談会成功に尽力されるなど、さまざまな形で日韓両国の親善友好に努力されています。

今回の叙勲で「渡来以来四百年の、抱き続けた日韓両国の親善の悲願を今後も貫き、徹したい」と決意を新たに話されました。

瑞宝双光章を受章

教育一途に尽力、福留 力さん(伊集院)

福留さんは、昭和三十三年に県公立学校教員に採用され、白川小学校に着任以来、生徒の学習意欲向上や学校教育の充実を図るなど三十八年間教育行政に携わりました。

また定年退職後は宮之城町教育長を務め、併せて四十六年もの間、教育一筋に尽力されるなどの功労が認められ、瑞宝双光章を受章されました。





しもぞの せいこ
下園 聖子さん [56歳]

吹上町和田（上和田自治会）

●吹上町マレーシア交流実行委員会会長

マレーシアを通して国際交流の楽しさを伝えたい

「マレーシアに携わったきっかけは、吹上町で行っていた『からいも交流』で留学生を受け入れたことでした」と話す下園さん。自身も当時の「人材育成事業」を利用して、マレーシアにホームステイした経験を持ち、現地の人とのコミュニケーションを通じて温かさに触れました。「自分が体験した感動を地域の人や子どもたちにも味わってほしい」と吹上町マレーシア交流実行委員会を立ち上げ、現在はその会長を務めています。

実行委員会では、国際交流に対する取り組みを知ってもらうために、農産物直売所「ひまわり館」や地域のイベントなどでマレーシアの雑貨やお菓子などを販売。「多くの人に知ってもらえるようになりました」と話し笑顔をみせます。また留学生からは「日本のお母さん」と呼ばれ、身の回りことや日常生活のことなどいろいろな相談を受けます。時には、マレーシアから国際電話で相談を受けることも。

二年後は、実行委員会を設立し節目の十五年目。記念誌発行に向けて今から準備をしているところです。「最初の交流から二十年以上が経過し、これからは二世の時代。子どもたちには、これまで以上に外国に目を向けて国際感覚を身に付けてほしい」と話します。また「これまでやってこれたのは、家族や地域の方の協力があったからこそ」と話し、周りへの感謝を忘れません。下園さんの精力的な活動が、さらに交流の輪を広げていきます。



山野 じゅり
珠李ちゃん（2歳）
李音ちゃん（11カ月）

父 隆文さん 母 弥生さん
（吹上町入来浜）

■おかあさんから

お兄ちゃんとは、ちょっと年が離れているけど、いつまでも3人仲良く笑顔の絶えないきょうだいできてね。

わんぱく直送便



富奥 だいすけ
大輔くん（1歳2カ月）

父 慎二さん 母 和代さん
（東市来町湯田）

■おかあさんから

4人きょうだいの末っ子で甘えん坊の大輔くんです。みんなに愛されて大きくなってね。

元気のある
お子さんの写真を
募集しています。

市内に在住の6歳以下のお子さん
①氏名②生年月日③保護者氏名④お子さんの近況⑤お子さんへのコメント
⑥広報へのご意見⑥連絡先を添えて、市役所総務企画部企画課（住所は
末っ）までお送りください。



ギャラリー 私の作品展

『トールペイント』

みょうけん けんじ
妙見 謙二さん(77歳) 日吉町日置

「トールペイントの魅力は、何といつても世界に一つだけしかない装飾品を作れること」と話す妙見さんは、何か趣味を見つけたいと夫婦で始めて3年目。月に2回ほど近くの教室へ通っています。トールペイントは、木材や陶器、金属など、どんな素材でも描くことができます。「筆使いや、絵の具の水加減など難しいところもありますが、自分好みの作品が出来上がることがうれしい」と笑顔を見せます。また「教室の仲間との交流も楽しい」とも。今後の目標は、デザインの図案を見なくても作品を作れるようになること。「これから夫婦共通の趣味を楽しみながら続けていきたいですね」



ウォッチまちの文化財 60

島津義弘と妙円寺（戦国島津氏⑤）

島津義弘は1535年に現在の吹上地域にある亀丸城（伊作城本丸）で生まれ、少年時代を伊集院の一字治城で過ごしました。成人してからは各地で戦い、その名を轟かせました。

義弘は、島津氏の悲願の三州（薩摩・大隅・日向）統一を果たすため、先頭に立って戦い、1577年に三州統一を果たします。三州統一の後も九州各地で戦い、勝利を重ねました。

豊臣秀吉の政権下に入った島津氏は、秀吉の命令で朝鮮出兵に参戦します。義弘が指揮する島津軍は、多数の敵を打ち破りその名を高めました。

義弘の最後の戦いが関ヶ原の合戦（1600年）です。関ヶ原で義弘が行った敵中突破は、長く語り継がれています。

義弘は生前、自らの菩提寺を伊集院の妙円寺に決めていました。江戸時代に義弘を偲び、「妙円寺詣り」が始まり、現在まで続いています。妙円寺は、明治2年に廃仏毀釈で一旦廃寺となり、その跡地に徳重神社が建てられました。妙円寺は明治14年に徳重神社の近くに再建されました。



島津義弘銅像（伊集院駅前）

Access

車で本庁から3分



ぼくの夢

花田小学校 六年 脇 芳和くん

ぼくの将来の夢は、中学校の数学の先生になることです。人に教えることは、とても大変だと思います。ぼくも算数の時間などに、早く問題が解けると、友達に教えることがありますが、教えてもなかなか上手く教えられず、落ち込むこともあります。ほめられるとうれしくて、もっと上手く話せるようになりたいと、やる気が出てきます。

また、初めて外の学校の人に道を聞かれた経験もあります。そのときは、間違えたらどうしようなどと、いろいろなことを考え、とても緊張しました。なんとか教えることができほっとしました。後日、その子と会ったとき「この前は、道を教えてくれて、とても分かりやすかったよ、ありがとう」と言ってもらえて、とてもうれしかったです。

これから、中学、高校、大学と進むことになりましたが、いろいろな人と出会い、いろいろな経験を積んで夢に向かって努力していきたいです。



鹿児島県日置市

市の人口(住民基本台帳)

総人口	51,824人 (11)
男	24,292人 (23)
女	27,532人 (△12)
世帯数	22,578 (2)

7月1日現在 () は前月比

東市来地域	12,729人
伊集院地域	24,564人
日吉地域	5,475人
吹上地域	9,056人

市の面積 253.06km²

今月の表紙



「共同生活で自主性をはぐくむ」

今年も小・中学生たちが親元を離れて共同生活。悪戦苦闘しながらも炊事や洗濯などの体験を通して、自主性をはぐくみました。

「3地域(東市来・伊集院・吹上)で学察実施」

P12 関連記事

No.63 平成22年7月号

発行/日置市役所

総務企画部企画課

〒899-2592

日置市伊集院町第一丁目100番地

TEL 099 (273) 2111

FAX 099 (273) 3063

東市来支所

TEL 099 (274) 2111

日吉支所

TEL 099 (292) 2111

吹上支所

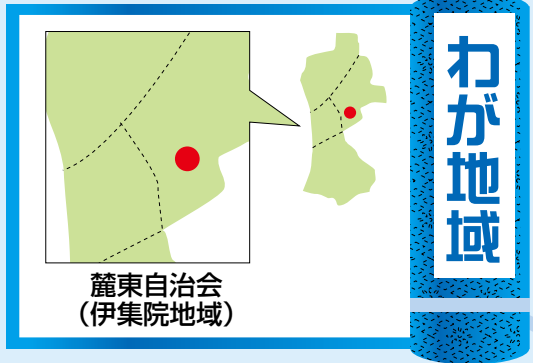
TEL 099 (296) 2111

<http://www.city.hioki.kagoshima.jp/>

伊集院駅から南東へ約二キロ、市役所から南へ約二キロに位置し、伊集院地区公民館を形成する自治会の一つ麓東自治会。平成二十二年七月一日現在で二百九世帯四百五十人が暮らしています。



▲50年前から続く伝統の運動会



わが地域

麓東自治会
(伊集院地域)



▲坂下正行会長

麓東自治会(伊集院地域) 住民一体となって住みよい地域づくりの推進を図る

何事にも地域一体となって取り組めるように、毎月定例の役員会を開催、運営委員会は九月と三月に全役員と班長や民生委員、保健推進委員などを含めて行っています。

毎年四月に行われる運動会は、今年で五十三回を数え、昭和三十二年から続く伝統的なイベントです。

体育部や育成会が中心となって準備、その後行われる花見は、婦人部が中心となって準備を行っています。

十五夜行事も毎年行います。みんなで練り上げた大縄を使って綱引きや相撲で楽しみながら、子どもから高齢者まで世代間交流を図ります。

また鬼火たたきも伝統として受け継がれている行事。準備は、一月三日に青壮年部や育成会を

中心に地区住民の方にも協力してもらいながら行われます。今年も大勢の方に参加していただきました。



▲和気あいあいと開催される花見

これらの活動や案内、また市の自治会長会の内容などを知らせるために独自の会報を作っています。この会報は毎月発行しており、三十年前から続けてきました。これからも自治会全体で情報の共有化を図るために続けていかなければならないと思っています。

自治会活動に関心を持ってもらおうと始めた青壮年懇親会は、年三回実施。年代に関係

なく参加できるため、回を重ねるごとに参加者も増えてきました。このため、よりコミュニケーションが図れるようになり、大勢の方が積極的に自治会行事に参加しています。



▲大勢の方が参加する鬼火たたき

自治会役員だけでは、決してよりよい運営はできません。人口も増えつつあり、社会の変化に合わせる運営はなかなか大変ですが、これからは話し合いを重ねながら、地域住民一体となって取り組めるような活動を心掛け、住みよい地域にしていきたいです。